スズメバチのパワーについて

◆スズメバチの毒針！

スズメバチの恐ろしさと聞いてイメージするのは、人を刺す毒針ではないでしょうか。

この毒針は、**産卵管**が変化したもので、メス（女王バチと働きバチ）のみが持っています。

産卵管とは、昆虫のメスが土の中や植物の組織内などに卵をうみつけるための生殖器で、身近な昆虫だと、ハチ以外ではキリギリスやコオロギなどのメスにも、見た目にわかりやすい産卵管がついています。

ハチの場合、卵を産み付けるという役割のほかに、**「攻撃のために刺す」「毒液を注入する」**という新たな機能も加わっています。

同じハチの仲間でも、ミツバチの針には大きな返しがついているので、一度刺すと針が抜けず、内臓ごと千切れて死んでしまいます。一方、スズメバチは返しが小さいため、何度でも刺しては抜いてを繰り返すことが出来るので、特に危険です。

又、スズメバチの攻撃は刺すだけではく、毒液を霧のようにまき散らす攻撃もします。この毒液には、他のハチたちに敵の存在を警告する匂い成分、**「警報フェロモン」**が入っており、この警報フェロモンを嗅ぎ付けた仲間が巣から飛び出し、チームプレーで敵を襲うのです。

◆栄養交換！

スズメバチの働きバチは、セミやバッタなどの虫を襲い、肉団子にして巣に持ち帰ります。巣内でゆっくり食べていると思われているかもしれませんが、決して働きバチが肉団子を食べることはありません。

成虫は、人間でいう腰にあたる部分が非常に細く、くびれているため、固形物が通りません。そのため、液体しか消化出来ないのです。

働きバチは巣に持ち帰った肉団子を幼虫が飲み込みやすいように、さらに細かくかみ砕いて少しずつ幼虫に与えます。エサをもらった幼虫は、お返しに栄養価の高い液体を口から出し、それを働きバチが飲むのです。これを**栄養交換**といいます。

この液体が成虫の主な栄養源で、1日に100キロメートルも飛べるエネルギーを生み出す原動力となります。

幼虫のエサは成虫が用意し、成虫のエサは幼虫が用意する。お互いになくてはならない存在なのです。

＜技術研究室・吉田貴史＞

株式会社 昭和リーブス

0120-64-7575

◆福知山本社　京都府福知山市篠尾新町2-66
ＴＥＬ 0773-23-1800
◆舞鶴支店　京都府舞鶴市南田辺72-4
ＴＥＬ 0773-75-1800
◆京都支店　京都府南丹市八木町八木野條17-2
ＴＥＬ 0771-43-1800
◆エステック衛生検査所　兵庫県朝来市和田山町枚田794-1
ＴＥＬ 079-670-1700
◆丹後支店　京都府京丹後市大宮町河辺3751-1
ＴＥＬ 0772-64-5480
◆南但支店　兵庫県朝来市和田山町枚田591－2
ＴＥＬ 079-672-1800
◆広島支店　広島市安佐南区八木6-5-9
ＴＥＬ 082-830-2811

昭和リーブス で検索ください

SHOWA LEAVES

エステック＆リーブス インフォメーション

Vol.17 令和5年 夏号

小動物対策について

◆天井裏の世界

突然ですが皆さんは「天井裏」と聞くと何を連想しますか？おそらく普通の生活を送っている人は、「天井裏」などを意識することはほとんどないと思います。わたくしなどは「天井裏」と聞くと「野生動物のねぐら」という風に考えてしまいます。

近年、野生動物の住居への侵入が増加しており、弊社への対策依頼が後を絶ちません。侵入してくる動物としては、イタチ、テン、ハクビシン、アライグマなどです。またコウモリが屋根や壁の隙間に住み着くこともあります。

わたくしの担当しているエリアでは、以前はイタチ、テンが多かったのですが、ここ３～４年の間にハクビシンの被害が急増している印象です。

天井裏にこれらの動物が侵入してくると、ドタドタと歩き回る音がする「騒音被害」、糞や尿による「衛生被害」、ノミなどによる「害虫被害」などに悩まされます。

対策としては侵入口を突き止めて、封鎖工事を行い、侵入できなくすることを最終的に目指します。ですが、そこに至るまでがとても大変なのです。天井裏に動物がいないタイミングで侵入口を封鎖したいのですが、居る場合には追い出しをかけます。これがなかなか、上手くいかない場合もあり、手こずります。糞清掃も踏み抜きに十分注意して行わなければなりませんし、そもそもの侵入口がどこなのかを見つけるのも困難を極める場合があります。そしてこの手の対策でもっとも厄介なのが「捕獲」です。

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」というのがあり、家ネズミ３種、一部の海棲哺乳類以外の鳥獣は、無許可では捕獲も殺傷も禁止されているのです。捕獲する場合は（原則狩猟免許所持者が）自治体に申請して許可をもらわなければなりません。これが自治体によって対応に違いがあり、猟友会以外には許可を出さないという自治体が非常に多いのです。この様な理由により、対策の優先度として捕獲は上位ではありません。

天井裏に設置した暗視カメラで撮影されたテン

この様に困難だらけの獣害対策ですが、わたくしに関しては、経験を重ね、侵入口もかなりの確率で推察・特定出来る様になりました。追い出し・封鎖工事に関しても様々な状況に対応できるようになりました。天井裏の獣害対策には、知識だけでなく長年の経験がとても重要な、ほとんど職人の世界です。ハクビシンなどの動物が住み着くとネズミ以上の被害を及ぼします。長年放置した結果、糞の重みで天井板が破れて穴が開いた現場も実際にありました。被害にあわれたお客様は本当に困っておられます。対応に時間も労力もかかる、とても大変な作業ですが、これからもさらに腕を磨いて万全のサービスをお届けできるようにいたします。

＜イラスト/文　舞鶴支店・冨室　光司＞

エステック衛生検査所より

◆金属製容器による中毒

「酸性の飲み物（スポーツドリンクなど）を水筒には入れないように」と聞いたことはありませんか？

過去に水筒に入れたスポーツ飲料を飲んだ児童が、頭痛、吐き気などを発症した食中毒が発生しました。原因は水筒の内部が破損しており、スポーツ飲料を長時間入れていたことで、通常では飲み物が接触しない保温構造部分の内側まで飲み物が混入し、水筒に使用されていた銅が溶け出したことが原因と考えられました。現在販売されている水筒は内側にコーティングが施されているものが殆どで、金属の溶出による食中毒はおきにくく、近年は同じような食中毒は起こっていませんが、次のようなポイントにご注意をお願いします。

１．水筒を落としたりぶつけると、その衝撃で水筒内部が破損したりキズがいく場合があるため、水筒内部にサビやキズが無いか確認します。

２．洗浄するときは中性洗剤を用いて優しく洗います。塩素系漂白剤を使用すると金属が腐食しやすくなるため、塩素系漂白剤は使用しないようにします。

３．長時間酸性の飲み物を保管すると、水筒の内部を傷つけてしまう可能性があります。使用後は早めに洗浄します。味噌汁も要注意です。

４．同じ水筒を長年使用していると経年劣化してきます。使用頻度に応じて定期的に交換します。

水筒にはステンレス製やアルミ製などさまざまな材質が使用されています。金属製の水筒には、フッ素加工やコーティングがしてあるものがほとんどで、「スポーツドリンク対応」製品もあります。しかし、メーカーによってはスポーツドリンクを推奨していない製品もあるため、説明書や使用方法をよく読み、使用方法を守って安全に使いましょう。

「水筒だからどれも一緒」と説明書を読まずに使い始めるのは危険です。

また、水筒だけでなく、やかんが原因で起こった食中毒事例もあります。アルミ製のやかんに入れた乳酸菌飲料を飲んだ園児が吐き気などを発症しました。また、高齢者施設でもステンレス製のやかんを使用して粉末のスポーツドリンクを水に溶かし、それを飲んだ入所者が吐き気や嘔吐を発症しました。この2件の事例では、発症した原因と考えられる銅は、やかんの材質には使用されていませんでしたが、普段からお湯を沸かすために繰り返し使用されていました。水道水には微量の銅が含まれており、繰り返し水道水を沸かすことでやかん内部に銅が蓄積してしまうことがあります。そこにスポーツドリンクや乳酸菌飲料を入れてしまったことで事故が起こったと言われています。このような事故を防止するには食品が接触する容器の内部にサビやキズがないか確認すること、酸性の飲み物を長時間、金属製の容器に保管しないこと、古くなった容器は、定期的に新しいものに交換することなどが重要です。

やかん内部に付着した水垢から溶け出した銅による食中毒機序（事例）

●やかんを長年使用すると、
銅を含んだ水垢（アルカリ性）が内部に付着

●このやかんに水道水を入れて沸騰

●冷めてから粉末ドリンク（酸性）を入れて溶解
中和されて析出した銅がイオンドリンク中に移行

＜エステック衛生検査所・西谷　朋巳＞

全体会議を開催しました

◆久しぶりの全体会議

４月６日、福知山勤労者福祉会館にて久しぶりに全体会議を開催しました。

弊社では、毎年４月と１０月の半期毎に全体会議を実施しております。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため長らく中止を余儀なくされておりました。感染状況の鎮静化を受け、今回は３年半ぶりの開催となりました。

全体会議の様子

まず社長挨拶があり、上期の業績報告と今後の方針が示されました。続いて辞令交付、勤続表彰、新入社員紹介、成績優秀者の表彰が行われました。

勤続表彰では私も恥ずかしながら２５年表彰を受けました。（それだけ年を重ねたのか・・）その後、外部講師を招いてのコンプライアンス研修が行われました。

また、新入社員紹介では全体会議が中断していた期間に入社した１４名が壇上で挨拶をしました。社員１００名程の会社なので、この人数はかなりのインパクトがあります。

お昼には換気など感染対策を徹底した上でお弁当を食べましたが、初めてマスクを外した素顔を見た人が何人もいました。午後からは、各部門に分かれての分科会も実施し、下期に向けての決意を新たにいたしました。

コロナ禍の間にリモート会議が普及しましたが、やはり直接顔を合わせての会議もいいものです。懐かしい顔ぶれを見ながら通常の生活が戻りつつあることを実感しました。

＜南但支店・夜久　隆一＞

新入社員紹介の様子

あらゆる要望にお応えするため、こんな業務もやっています！

◎シロアリ駆除、床下換気扇取り付け、調湿材（炭）敷設などの床下改善業務
◎ペストコントロール業務（昆虫モニタリング調査、害虫害獣の駆除や防除）
◎検便検査（ノロウイルス検査含む）、食品検査など幅広い微生物検査　◎殺菌施工、殺菌剤等の販売
◎ＨＡＣＣＰ支援　◎食品表示診断　◎異物同定検査　◎空気環境測定業務　◎文化財の燻蒸業務　など